

殺ダニ剤の登録一覧表

(2006年用)

JA全農山形 生産資材部

薬剤名	ナミハダニ			リンゴハダニ			感受性の低下実績	オウトウハダニ	チャノホコリダニ	サビダニ	ボルドー液・混用	りんご	おうとう	もも	ぶどう	なし	きゅうり	トマト	なす	すいか	いちご	メロン	菊	ばら	注 意 事 項
	卵	幼虫	成虫	卵	幼虫	成虫																			
パロックフロアブル	◎	◎	×	◎	◎	×	有り (ナミハダニ)	(○)	—	(○)	×	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	—	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	・成虫に対する活性はないが、卵・幼虫・若虫の各ステージに活性が高く長い残効がある。 ・ボルドー液散布10日前まで使用し、ボルドー液散布後は使用しない。
マイトコーネフロアブル	◎	◎	◎	○	◎	◎	有り (リンゴハダニ卵)	(○)	(○)	○	×	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	—	・ボルドー液との混用は避け、近接散布は前後14日以上開ける。 ・ミツバチ・蚕およびカブリガニ等の天敵に対する影響が少ない。 ・スモモ、ミニトマトにも登録あり
ニッソラン水和剤	◎	◎	×	◎	◎	×	有り (未回復)	—	×	×	○	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	—	2,000	2,000	2,000	—	2,000	2,000	・成虫に対する活性はないが、卵・幼虫・若虫の各ステージに活性が高く長い残効が期待される。 ・本剤とカーラフロアブルは同一剤と見なし連用しない。
オサダン水和剤	△	◎	◎	△	◎	◎	有り	—	(○)	(○)	×	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	—	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	・ボルドー液散布後は30日以上開ける。 ・本剤散布後は、10日間はボルドー液を散布しない。 ・水和剤はセルリ、柿、カーネーションにも登録あり	
オサダンフロアブル	○	◎	◎	○	◎	◎	有り	—	(○)	(○)	○	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	—	2,000	2,000	2,000	2,000		
ダニトロンフロアブル	○	◎	◎	○	◎	◎	有り	—	(○)	(○)	○	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	2,000	—	2,000	1,000	2,000	1,000	1,000	1,000	・原液を皮膚や目に直接付着しないようにする。(刺激が強い) ・サンマイト・ピラニカは交叉抵抗を示すので連用は避ける。
サンマイト水和剤	○	◎	◎	○	◎	◎	有り	(○)	(○)	○	○	1,500	1,000	1,000	1,500	1,500	—	—	—	—	—	—	—	—	・原液を皮膚や目に直接付着しないようにする。(刺激が強い) ・ダニトロン・ピラニカは交叉抵抗を示すので連用は避ける。 ・フロアブル剤は、トマトのオシツコジラミとカブリコジラミへの登録となる。 ・他に水和剤はすももに、FL剤は枝豆に登録あり。
サンマイトフロアブル	○	◎	◎	○	◎	◎	有り	—	(○)	○	○	—	—	—	—	—	1,000	1,000	—	1,000	1,000	1,500	1,000		
ピラニカ水和剤	○	◎	◎	○	◎	◎	有り	(○)	(○)	(○)	○	1,000	1,000	1,000	2,000	1,000	—	—	—	—	—	—	—	—	・ダニトロン・サンマイトは交叉抵抗を示すので連用は避ける。 ・柿にも登録あり。 ・EW剤はカーネーション・花卉類に登録がある。
ピラニカEW	○	◎	◎	○	◎	◎	有り	(○)	(○)	(○)	○	—	1,000	1,000	—	—	2,000	—	2,000	2,000	2,000	2,000	1,000	—	
テデオ水和剤	◎	○	×	◎	○	×	有り (回復可)	(○)	—	—	○	500	—	—	—	500	500	—	500	500	500	500	500	500	・他に花卉類に対する登録がある。 ・使用する場合は、殺成虫力の高い薬剤と混用するとよい。 ・連用すると抵抗性ハダニが増加するので年1回の使用とする。
テデオ乳剤	◎	○	×	◎	○	×	有り (回復可)	(○)	—	—	○	500	—	—	—	500	500	—	500	500	500	500	500	500	
カネマイトフロアブル	○	◎	◎	○	◎	◎	無し	(○)	○	○	×	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	—	1,000	1,000	—	1,000	1,000	—	・アロエティックと混用する場合はカネマイトを先に希釈し混用する。 ・ボルドー液との混用は避け、近接散布は前後14日以上開ける。 ・すもも、うり類(漬物用)に登録あり。
コロマイト水和剤	◎	◎	◎	◎	◎	◎	無し	(○)	(○)	(○)	○	2,000	—	—	2,000	2,000	2,000	—	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	・蚕毒性があるので、桑園の周辺では飛散しないように注意する。 ・乳剤は、葉害防止のため安全性が確認された薬剤のみ混用する。 ・乳剤は、展着剤および葉面散布肥料とは混用しない。 ・乳剤はトマトのシハリーフコジラミ、トマトサビダニ、マメハダニに登録。 ・水和剤は食用菊にも登録あり。
コロマイト乳剤	◎	◎	◎	◎	◎	◎	無し	(○)	(○)	(○)	○	1,000	1,000	1,000	—	1,000	1,000	1,500	1,500	1,000	1,000	1,000	1,000	—	
コテツフロアブル	◎	◎	◎	×	×	×	無し	(○)	(○)	(○)	×	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	—	2,000	—	・蚕毒性があるので、桑園周辺では飛散しないように注意する。 ・ハライダニ・イソ・キョウ・ナスの幼苗期は葉害の恐れがあるので使用不可。 ・オクラではオオタバコガで登録あり。 ・ミニトマトにも登録あり。
オマイト水和剤	×	◎	◎	×	○	○	有り (回復可)	—	—	—	×	750	750	750	1,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	・ダイアジノス・スプライト・ダコニール1000・テランFLの各剤とは混用しない。(葉害) ・ボルドー液との混用は避け、近接散布は前後7日以上開ける。 ・単用散布がのぞましい。
オオナタフロアブル	(◎)	◎	◎	(◎)	◎	◎	有り (一部)	(○)	(○)	(○)	×	3,000	—	—	—	3,000	—	—	—	—	—	—	—	—	・日本なし、おうとうの新梢伸長期では葉害(奇形葉)がでるので飛散しないよう注意する。 ・タイタロンとコテツの混合剤なので両剤と連用・重複使用しない。
タイタロンフロアブル	(○)	○	○	(◎)	◎	◎	有り (ナミハダニ)	(○)	(○)	(○)	×	2,000	—	—	—	2,000	—	—	—	—	—	—	—	—	・日本なし、おうとうの新梢伸長期では葉害(奇形葉)がでるので飛散しないよう注意する。 ・卵は孵化直後に死亡する。

※各薬剤共、ボルドー液と混用して使用すると効果が低下したり、残効期間が短くなるようなので留意する。

※殺ダニ剤は抵抗性回避のため各薬剤共、年1回の使用とする。